

事務事業名	観光施設修繕事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課			
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉	所属G	産業施設グループ	課長名	高橋 澄人		
	施策名	〈36〉観光の振興	担当者名	錦織 慎司	電話番号	0854-40-1093 (内線) 2421		
	目的	対象 A)市外の人 B)市民 意図 A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらう。 B)観光情報を発信する。	予算科目	会計	款	大事業	大事業名	観光施設管理事業
	基本事業	〈107〉受け入れ施設の充実 目的 観光客 意図 観光施設を利用できる。		0:1350:1	0:1	中事業	中事業名	観光施設修繕事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
①市外からの入込客 ②管理対象物件	①観光してもらう ②適正管理する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	市内観光施策施設の修繕
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・市内観光施設の修繕 ①修繕箇所把握 ②修繕費用積算 ③契約、執行 ④完了検査 ⑤支出事務	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) ・H27年度までは総合センター事業管理課で維持管理を行ってきたが、組織機構改革によって、H28年度は産業振興部産業施設課、H29年度から産業観光部産業施設課が所管となった。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
ア 観光入込客数	万人	99	93	7月確定見込	108
イ 観光消費額	百万円	2,006	1,982	7月確定見込	2,566
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
【修繕費】 大東:8件 1,356千円 木次:11件 3,114千円 三刀屋:10件 1,856千円 吉田:13件 2,663千円 掛合:8件 1,877千円 【合計】50件 10,866千円	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	6,101	12,618	10,866	2,079	
		事業費計	千円	6,101	12,618	10,866	2,079	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	市内観光施設について、緊急性(修繕しないとその施設が使用できなくなる)、安全性(修繕しないことで利用者・使用者に危険がある)、必要性(その他地元との協議等により実施の必要がある)の観点から優先度を決め修繕対応を行い、継続して使用できるようにした。
② 事業実施するうえでの課題	対応できる範囲での修繕を行った。 老朽化が進んでおり、後追いの修繕となっている。今後、修繕や更新の箇所は増大すると考えられるため、人件費も増となる見込みである。
③ 課題解決に向けた改革改善等	市内観光施設の修繕事業であり、観光振興計画との整合を図りながら計画的な修繕を行う。